

解答

一

問一

イ 支障 ロ 典型 ハ 繰（り） ニ 圧倒

問二

A ア B エ C イ D オ E カ

問三

自律的な自己規制力

問四

イ

日本社会に秩序があり、犯罪が少ない（から。）

問五

関係性

問六

（個人の自己は）他者や状況といった社会的文脈から切り離され、そうしたものの影響を受けない独自の

問七

存在

問八

エ

二

問一

イ 企業 ロ 恩 ハ 端 ニ 硬貨 ホ 財布

問二

点字で本を読むということ。

問三

エ

問四

ウ

問五

A ねずみ B ひつじ

問六

執事

問七

消えてしまいたい

問八

エ

問九

I 和菓子を陳列する目的

II 目が見えていた当時と同じ店の風景にして、店主が体を自由に動かせるようにする目的。

解説

一

問三

傍線部①の後に着目します。「恥ずかしい」とか「みっともない」という美意識が、法的に裁かれるかどうかに関係なく、自分を正しい行いに導く力になっていることから、「自律的な自己規制力」が抜き出せます。本文の前半で、人の目を意識する心をもつことで、社会の秩序が保たれてきたことを説明し、中盤で、僕たち日本人は、だれかのためという思いがわりと大きいと述べていることから、選択肢エが選べます。

問八

二

問二

傍線部①の前に「店主は、目が見えないので、」という記述があるので、点字で本を読んでいることがわかります。

問七

□Dの前後に着目します。「業者さんに頼んで処分しますよ。」という言葉聞いてあせたことや、いざ消えるとなると、はげしく動揺してしまうことから、当てはまる表現として「消えてしまいたい」が抜き出せます。